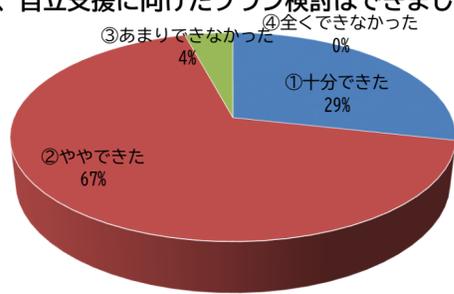


# 包括支援センター 地域ケア個別会議アンケート集計結果

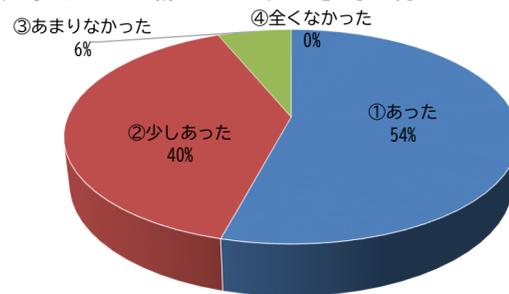
令和5年4月～9月実施

Q1：会議に参加して、自立支援に向けたプラン検討はできましたか



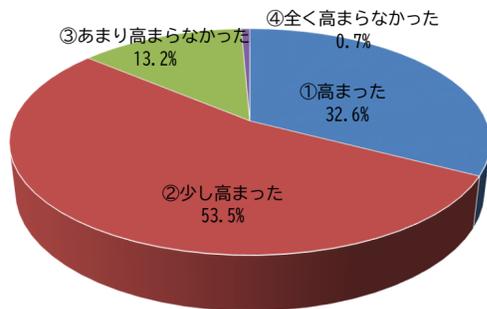
| ①十分できた | ②ややできた | ③あまりできなかった | ④全くできなかった | 合計   |
|--------|--------|------------|-----------|------|
| 41人    | 97人    | 6人         | 0人        | 144人 |

Q2：会議に参加して、新たな「気づき」等、得たものはありますか



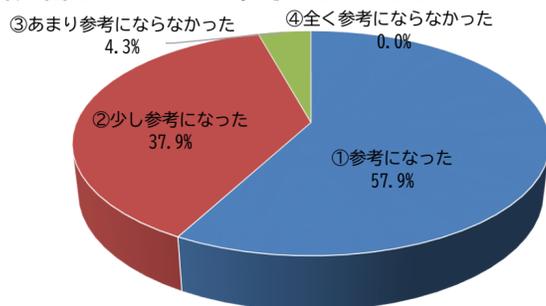
| ①あった | ②少しあった | ③あまりなかった | ④全くなかった | 合計   |
|------|--------|----------|---------|------|
| 78人  | 57人    | 9人       | 0人      | 144人 |

Q3：利用者の状態改善への意識は高まりましたか



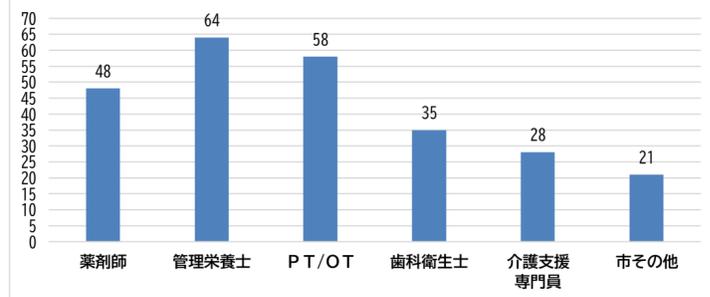
| ①高まった | ②少し高まった | ③あまり高まらなかった | ④全く高まらなかった | 合計   |
|-------|---------|-------------|------------|------|
| 47人   | 77人     | 19人         | 1人         | 144人 |

Q4：会議で出たアドバイスは参考になりましたか



| ①参考になった | ②少し参考になった | ③あまり参考にならなかった | ④全く参考にならなかった | 合計   |
|---------|-----------|---------------|--------------|------|
| 81人     | 53人       | 6人            | 0人           | 140人 |

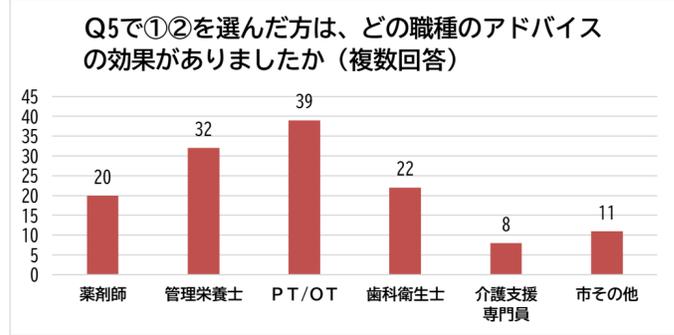
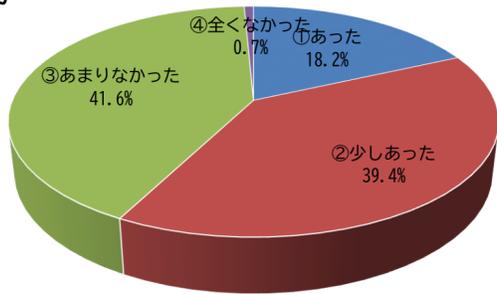
Q4で①②を選んだ方は、どの職種のアドバイスが参考になりましたか（複数回答）



## ◆具体的にどんなアドバイスが参考になったか（自由記載）

|   |
|---|
| 糖尿病を抱えておられる利用者様の食生活や健康管理についての助言。  |
| 調理が好きというご本人に対して机とイスを利用して食材をきったり娘さんの負担を軽減。お風呂の回数を週2回にたいして痛みがやストレスを緩和する効果があり自分の認識も変わった。   |
| 具体的なメニューの提示があったので本人に伝えやすかった。  |
| 血糖コントロールの重要性を再認識できました。食生活の改善、義歯の調整と本人様自身がなかなか自覚しにくい課題も多いですが、自立した生活を続けていただくため、今期強く本人様の意識を高めていけたらと思いました。主治医とも相談しやすい環境なので専門職の介入にかんしても本人様の意向を確認しながら早めに調整するのがよいように思いました。 |
| 内服薬の効果についての具体的な説明があったことでより理解を深めることができ、利用者にもわかりやすく説明することができた。  |
| 歯科受診への声掛け方法。具体的な食事内容。   |
| 元々外出好きな方で、腰痛での意欲低下があった。意識を外に向けてことで、リハビリ意欲が高まった。   |
| 「痩せましょう」ではなく「筋肉をつけましょう」と声掛けることで、前向きに食事改善に向き合えたと感じた。   |
| 世代なのか、薬に対する受け入れが悪い利用者さんなので、声掛けの方法を考えていただき、参考になりました。   |
| 住んでいる地域のデメリットだけでなく、メリットにも目を向けて支援（目標）を立てていく。   |
| 1番の課題が住まいで夜間の排泄環境の問題からご本人が水分制限をされている可能性もあり、脱水や膀胱炎の恐れも出てくる。夜間の排泄環境を解消した方がいいとのアドバイスを頂き、自分でも課題だと感じて一度はトイレの使用を提案して断られていたが、再度検討してみようとの思いになれた。                            |
| 見通しを立てて今後の事を考えていく。今後の支援方針を検討していく  |
| 今本人が取り組んでいることを、少しの工夫でより効果的になるようアドバイスを頂いたので、本人にも伝えやすく良かったです。   |
| より具体的に歩数や運動量を決めて、本人に分かりやすい目標と達成できるかもという期待とをプランに入れること。   |

Q5：アドバイスを伝えた結果、効果（状態改善）はありましたか



| ①あった | ②少しあった | ③あまりなかった | ④全くなかった | 合計   |
|------|--------|----------|---------|------|
| 25人  | 54人    | 57人      | 1人      | 137人 |

◆具体的にどんなアドバイスをして、どんな効果があったか（自由記載）

アドバイス訪問を希望されたため一度訪問をしていただきました。1回の訪問のみでしたが専門職の方からの助言や提案を受け入れられ現在も毎日体操をされている状況です。以前には歩行器の足取りも軽やかで体操の効果を実感されている。またさらなる向上を目標とされ4月より通所型利用開始となりました。

歯科受診によりかむ力を意識することができる。

歩行器を利用することで活動の範囲が増えました。

食事についての意識に変化あり。間食の内容がわかっている。

なかなか歯科受診に行くことができていなかったが、アドバイス後、歯科へ定期的にかかるようになりました。

入浴について、浴槽台や手すりについて検討したいという声が聞かれるようになった。

飲み方を意識されるようになってきている。ムセも見られていない。

「介護保険からの卒業」という言葉がご本人の目標となり、自宅での生活の状況が変化した。

薬を一包化していただき、忘れにくくなった。

水分量と薬の量に気を付ける。

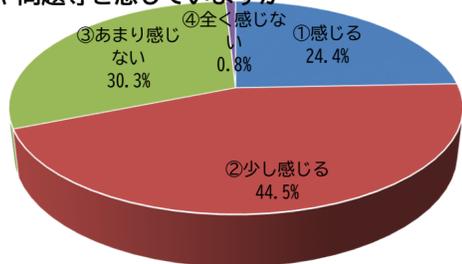
栄養バランスの摂れた食事と量。ご本人様もご自身の病気や身体状況について理解されており完食の甘未を摂りすぎないよう留意されている。

医療（看護）の体制づくりに効果あり

特に禁煙、嗜好食品の軽減ができました。リハビリにも前向きに取り組まれています。

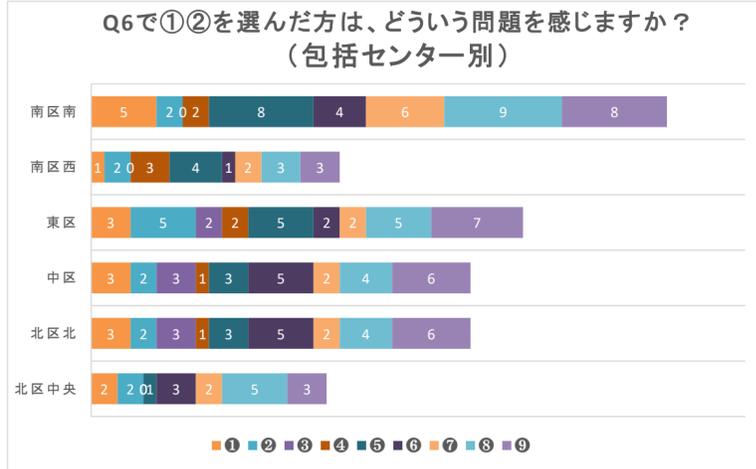
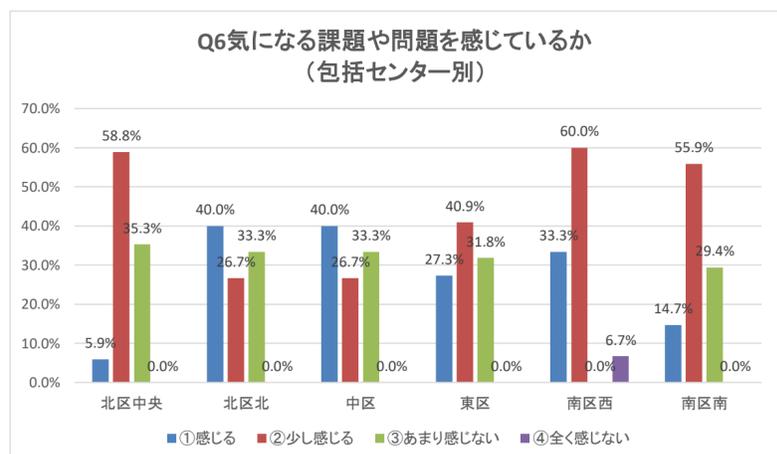
ご本人に改善意識がなく、生活習慣の改善は難しいと感じています。家族に対しては訪問の度、少しずつアドバイスができるようになりました。

Q6. 本人が今後生活するうえで、気になる課題や問題等を感じていますか



- ① 認知症高齢者・独居高齢者の見守り体制の不足
- ② 地域住民等による組織的な支援体制の不足
- ③ 認知症や精神疾患に対する理解の不足
- ④ 介護力の低い家族との同居・8050問題
- ⑤ 家族介護者支援（老々介護・認認介護）
- ⑥ 高齢者の孤立化・頼れる身寄りがない
- ⑦ 通いの場や集まる場が近くにない
- ⑧ 外出困難・買い物困難・受診困難
- ⑨ 高齢者の交通手段が少ない

| ①感じる | ②少し感じる | ③あまり感じない | ④全く感じない | 合計   |
|------|--------|----------|---------|------|
| 29人  | 53人    | 36人      | 1人      | 119人 |



Q6：その他、気になる問題、こんな取組や社会資源があれば等の意見があれば、こちらへ記載してください。（自由記載）☒

|  |
|--|
| 元気があってもなくても集えるカフェがあればいいと思う。  |
| 送迎、外出支援のインフォーマルサービスをもっと充実していただきたい。集まりなどよい資源があってもそこまで行けないケースがほとんどです。          |
| 地域の民生委員さんが受診介助などが出来る仕組みを作られ、助かると伺ってます。地域の社会資源（特に移動手段の確保）はありがたいです。            |
| 介護予防センターのアドバイス訪問をもっと活用していきたいと思う。   |
| 家族介護の限界  |
| 家族の経済的負担   |
| 自家用車がないと、困ることが多い土地柄。   |
| 入院等の手続きの時、誰に頼むか？手続き等頼むか等、聞き取りを行うが、本人は入院しないから、構わないどうにかなると楽天的。                 |
| 社会的ではなく、新しい人や場所が苦手である。歩行距離も短く、近隣で自分で通える場所がない。消極的な方にもアプローチできるお知らせや訪問があればと感じた。 |
| 支援1でも週2回リハビリに行きたい、1回だと効果を感じられないと言う声が多い。岡山市も週2回行ける事業にしてほしい。                   |
| 坂の上の家で買い物が難しかった。車を手放し、本人がどこにも出なくなり、自信喪失にもつながったと思う。                           |
| 子ども食堂のような高齢者が集まって食事が出る（孤食を減らす）場、寄り合いのような場の提供。                                |
| スマホ・PCの使い方など介護保険外のサービスの民間サービスの活用。  |
| 現在は夫が車の運転をする為、外出に不自由さはないが、夫も高齢であり、免許を返納したときの生活の不自由さをどのように解決していくか。            |

Q7：地域ケア個別会議について、ご意見ご感想（自由記載）

|   |
|---|
| 専門職による的確なアドバイスを利用者にフードバックすることがアセスメント、モニタリングの深まりを感じることができた。                                  |
| 担当プランについて関係事業素以外でのアドバイスを頂ける機会が少ないので、とても参考になり、利用者・家族にも伝えやすかったです。                             |
| ご本人の生活様式や意識を変えることは難しいですが、話をすることで意識できる、再確認できるきっかけになればと思います。                                  |
| 時間的に余裕がなく急いだ感じをうけ書き留めるのが精いっぱいでおわった印象。いろいろ専門職のかたからのアドバイスはよかった。                               |
| 自分だけでは思いつかないような視点の助言が頂けるのでありがたく感じている。   |
| 参加時にサービス事業所にも声をかけた方がよいのかなと思いつつ、時間も取ってしまうのでなかなか声掛けができない。                                     |
| みなさん理想的な正しい意見を発言されますが、本人の思いとかけ離れていて、虚しく感じました。   |
| 本人様、家族様の参加があればより直接お話ができるので伝え話より効果的かと思います。   |
| 時間が足りず、会議とは言えないように思います。せっかく多職種いて困っていても深められない。   |
| 始まったばかりもあり、指導いただいた点についてもわかっていることがありますが、直ぐには思うようにいかないですが、多職種からのアドバイスで変化や効果もみられるのでとても参考になります。 |
| 援助の初期段階での個別会議は、アセスメント不足でもあり大変難しい。せめて半年程度経過した利用者を選定していただければありがたい。                            |
| 個別のケースを通して、地域課題の発見や地域資源が生まれるような取り組みになれば有難いです。   |

《アンケートについて》  
今回は令和5年4月～9月実施分(36回開催：事例180事例)に対し合計148人から回答が得られた。